

子ども性徴学

思春期少女

发育入门ガイド



保田塾
YASUDAJUKU

子ども性徴学

思春期少女発育入門ガイド

はじめに

本作は少女発達に関するガイドブックとして書かれた。
前作『少女発育年次の傾向と展望』を読むための入門書でもある。
できるかぎり視覚化に努め、図表や少女画のページを多くした。
本書は少女の身体と性徴とその関係性をテーマにしている。
多岐にわたる医学的な知見は、医学やリアル性の追求のためではない。
少女観を再考するために導入された手段である。



小野寺 麻奈 小等部1年



内藤 美緒 小等部2年



岡崎 玲奈 小等部3年



長谷川 佳奈 小等部4年



井上 はるか 小等部5年



岡崎 玲音 小等部6年

04 乳房/陰毛タナー分類

タナーによる乳房・陰毛性徴の段階を視覚化した。乳房は独立して発達するものはない。体格等とともに発達する。そのことを図と共に表現してある。

08 各乳房タナーステージにおける陰毛ステージ比率

乳房タナーステージは、陰毛ステージとも関係している「無毛時点での乳房発達ほどの程度か」「乳房が膨らみ始めたときに陰毛はどうなっているのか」といった疑問に答えている。

10 体格論

児童の痩せ肥満度と成長率の変化グラフを使い、標準的発達の少女がどの時点でどう変化するかを表現した。また成長率と発達の関係性も同時に解説し、発達の「流れ」を図示した。

12 小学1年生から高校3年生までの発達

各年齢の標準体型の少女像を3人並べ、各年齢の発達を解説した。前作は小3から中1までの説明であったが、今回は小1～高3までと学童期から18歳までを取り扱っている。

20 初潮とはなにか

初潮も単独で起きる発達ではない。体格やタナーステージもそこには関係をしてくる。初潮や月経に関する幾つかの視点を取り上げ説明している。

22 少女性徴標準史

タナーステージや体格の変化、そして妊孕性等を時系列順に、コマ割りの表現を使い示した。同時に少女の体格も変化していおり、性徴の全体像が把握できるものになっている。



橘 文夏 中等部1年



山科 友理奈 中等部2年



水野 梨沙 中等部3年



吉川 葵 高等部1年



内藤 真緒 高等部2年



長谷川 佳鈴 高等部3年

乳房タナー分類

思春期における乳房の発達度はタナー分類によって評価される。

提唱者のJ.M.タナーは小児分泌学の世界的な権威である。

彼の主著である『Growth at Adolescence』の所見と、別調査の体格計測に基づき、少女を作画した。

見開き左から乳房タナー1期・2期・3期・4期の乳房と少女である。

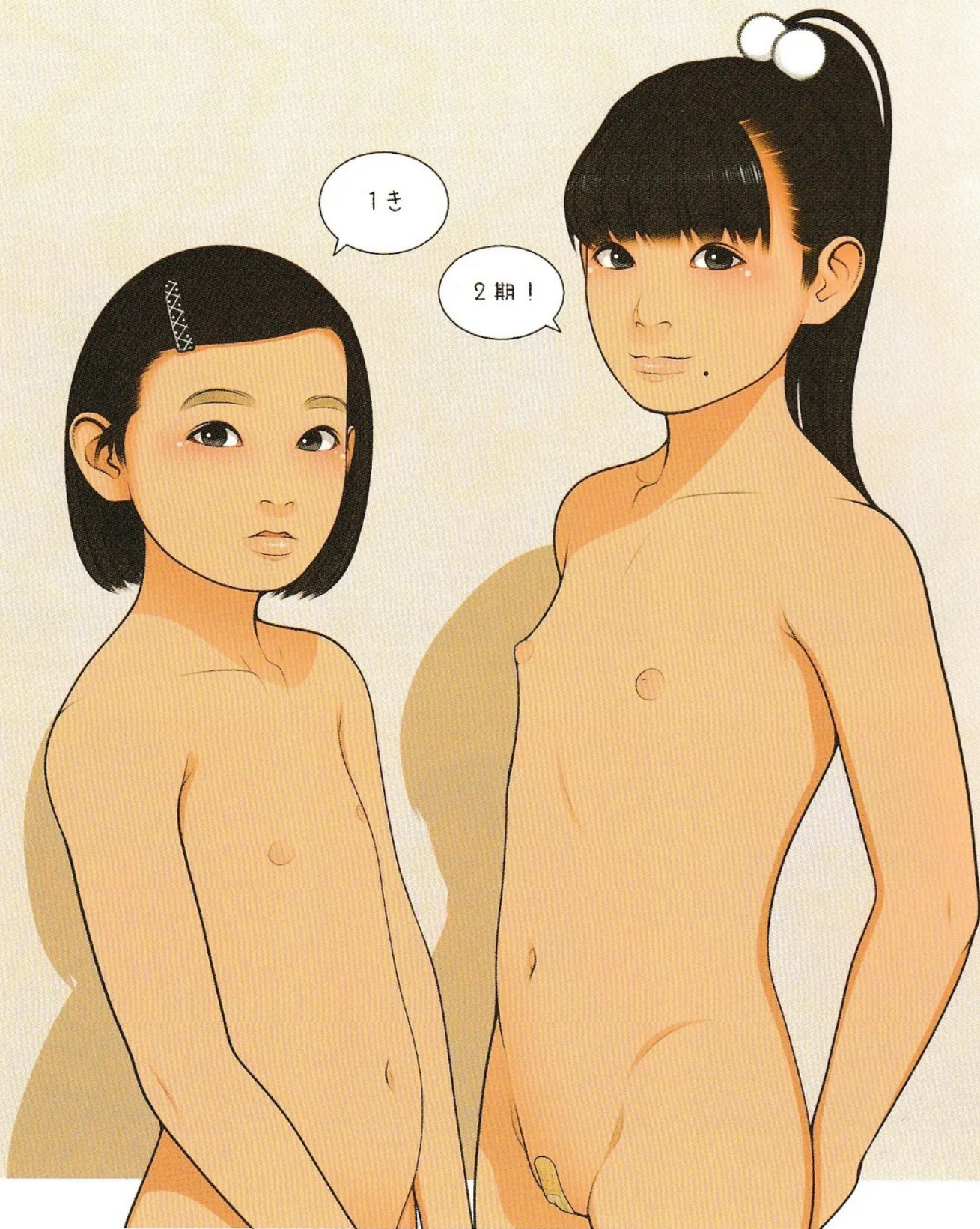
各ステージ共に、その時点での体格の平均値で描いている。ただしタナー1期は8歳相当の体格である。

タナー1期(B1) 「前思春期。乳頭のみ前突」

タナー2期(B2) 「乳房発芽段階。小丘状の乳房および乳頭の上昇。乳頭径の拡大」

平均到達年齢10歳。

その時点での平均体格:身長136.4cm 体重29kg 胸囲61.7cm カップサイズAAA55



タナー3期 「乳房と乳輪の更なる拡大と隆起。その境界輪郭は分離しない」
平均到達年齢11.5歳。その時点での平均体格:身長148.2cm 体重37.8kg 胸囲69.0cm カップサイズAA60

タナー4期 「乳輪と乳頭が突出、乳房の上に第二の隆起を形成」
平均到達年齢13.5歳。その時点での平均体格:身長156.9cm 体重45.8kg 胸囲74.7cm カップサイズA65



陰毛タナー分類

乳房と同じくタナーによる思春期陰毛の評価である。見開き左から1・2・3・4期の陰毛と少女となっている。各ステージ共に、その時点での体格の平均値で描いている。ただしタナー1期は10歳相当の体格である。
タナー1期(Ph1)：前思春期。恥骨上のうぶ毛は腹壁上のそれより発達しておらず、即ち無毛である。
タナー2期(Ph2)：わずかに色付いた発毛がまばらに見られる。
直毛ないしわずかにカールしており主に陰唇に沿って現れる。平均到達年齢11.7歳。



タナー3期(Ph3)：明らかな毛色の濃化、毛質の硬化、ちじれの進行。毛は恥骨の接合部上にまばらに広がる。
平均到達年齢13歳。

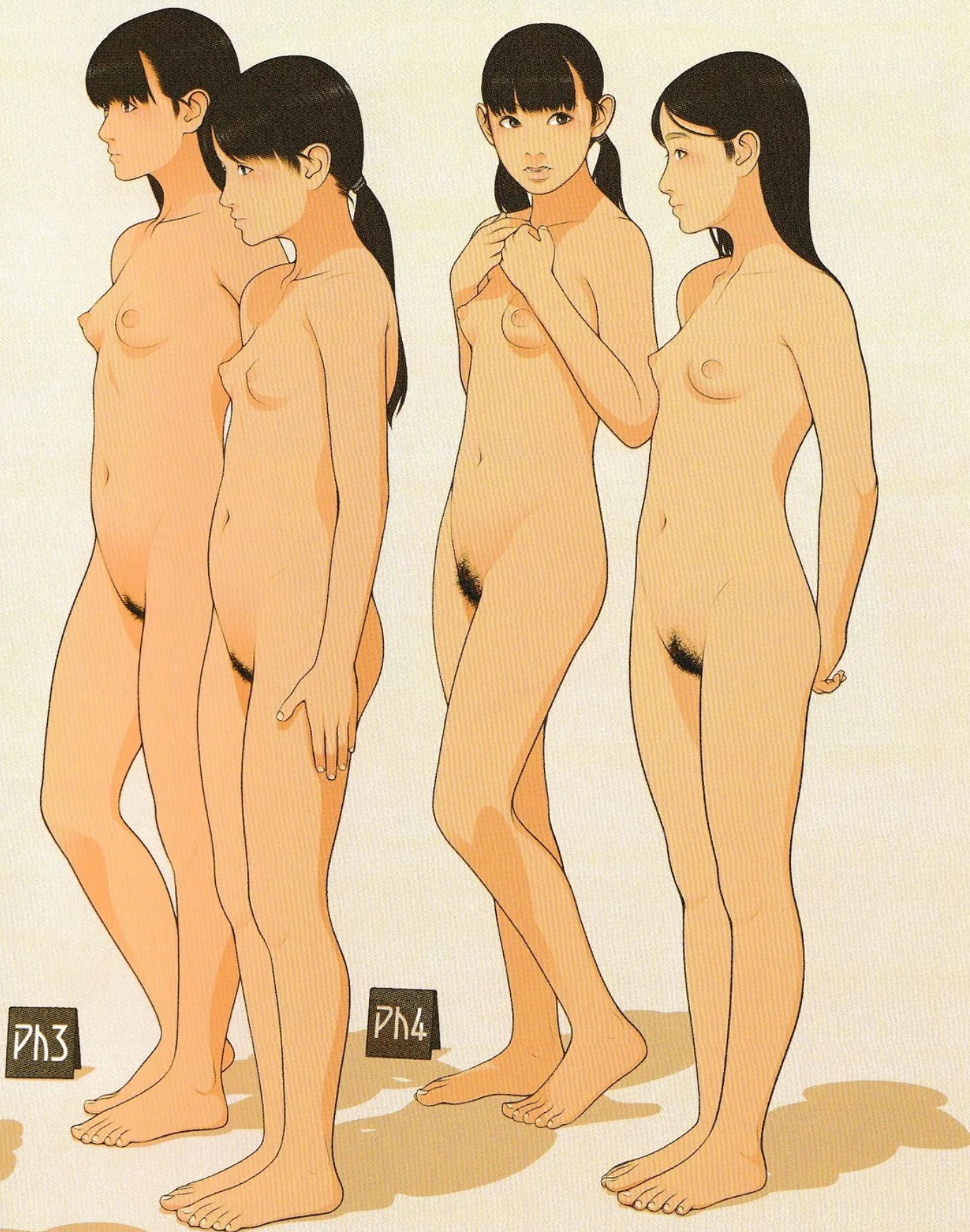
タナー4期(Ph4)：成人に近いが、成人に比較して陰毛に覆われる範囲は未だ小さくとどまる。
平均到達年齢13.9歳。



乳房タナーステージにおける陰毛ステージ比率



図は乳房のタナーステージにおける陰毛の発達程度を図案化している。
 例えば、B2におけるPh1は98%と大半を占め、B2での陰毛率は極めて低い。
 逆にB4時点での無毛はほぼ皆無(1%)である。
 B3では陰毛・無毛が6:4の比率であり、B3で陰毛が発生すること等がこの表から読み取れる。



各乳房タナーステージにおける陰毛ステージ比率

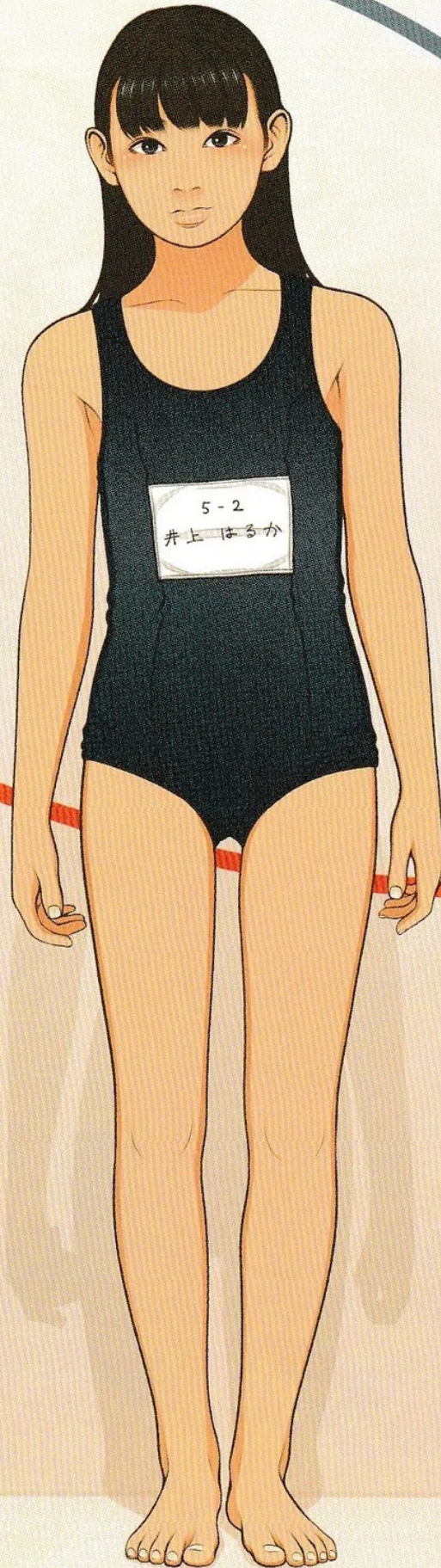
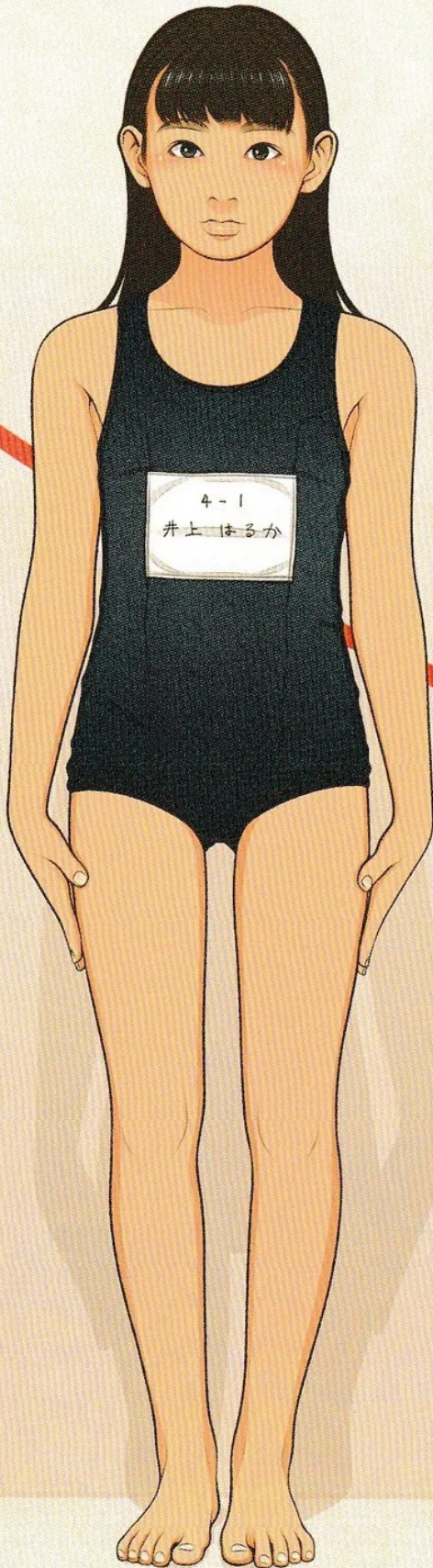
	Ph1	Ph2	Ph3	Ph4	Ph5
B5	0%	1%	4%	16%	79%
B4	1%	5%	20%	50%	24%
B3	42%	25%	20%	11%	2%
B2	98%	2%	0%	0%	0%

体格論

背景のグラフの赤線はローレル指数の平均値の年齢による変化。
ローレル指数は体重(kg)÷身長(cm) 3×10000000 で計算される。
低い値ほど痩せており高い値ほど太っていると言える。
青線は身長伸びの平均値の年齢による変化。
思春期で大きな伸びを示し、その後止まっていくことがわかる。

小学4年生ごろ

身長急速な伸びが始まり、また乳房も発達しはじめる。
発育の順序は、乳房→陰毛→初潮であり
まだ初潮は迎えてはいない。

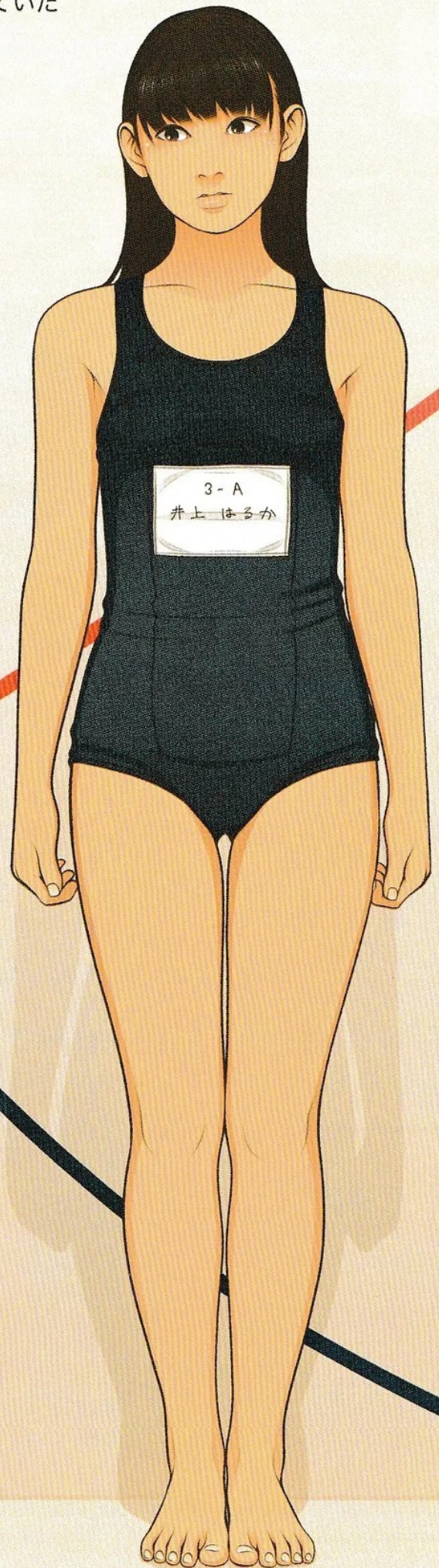
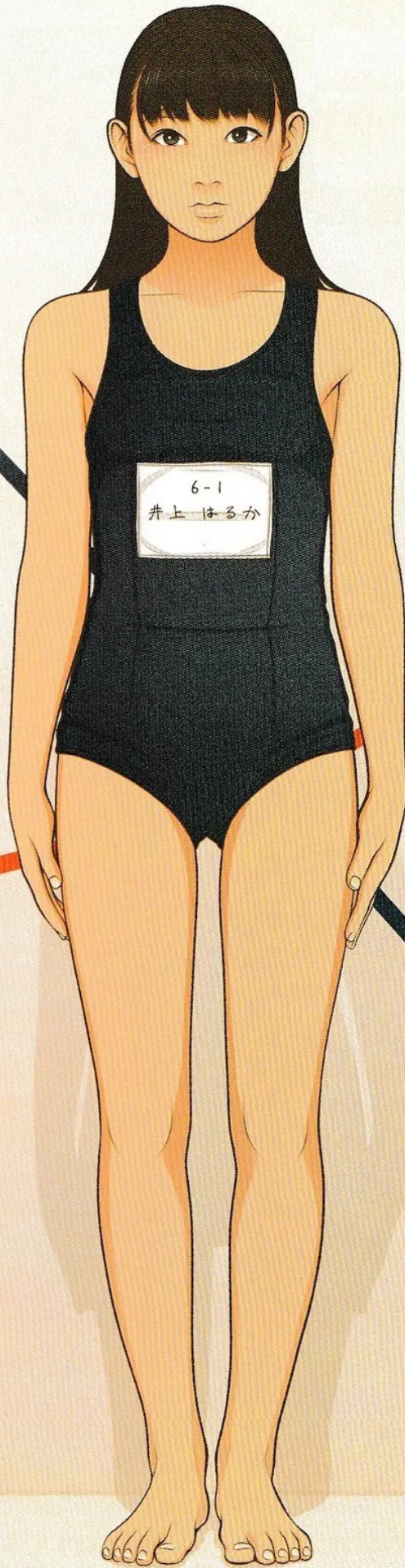


小学5年生ごろ

身長伸びがピークを迎え、生涯で最もローレル指数が低くなる時期でもあり、瘦身である。
また身長伸びとともに顔も大人に近づく。

小学6年生ごろ

初潮を迎える。身長伸びは鈍化し出生以降下がり続けていたローレル指数は上昇に転じる。
丸みを帯びた体型になる。



中学3年生ごろ

身長は成熟し、タナーステージもほぼ成人のものである。乳房の大きさも決定する。
ただし高校生になってからも体重・骨盤はやや大きくなる。

小学1年生から高校3年生までの発達

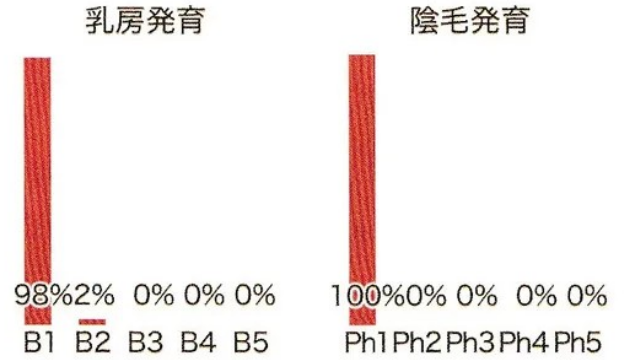
左ページは各学年の標準体型と標準性徴を組み合わせた少女を3人並べ発達の違いと成長を視覚化した。
右ページは各学年の発達の特徴とサイズデータや初潮率陰毛率を記載した。
グラフはその学年における乳房陰毛タナーズステージの割合である。
性徴には個々人ごとの様々な変化はあるのだが、おおまかな年齢としての傾向があることが理解できる。



小学1年生



身長：118.6cm
 体重：22.2kg
 B：57.8cm
 W：51.4cm
 H：62.9cm
 カップサイズ：AAAA55
 陰毛率：0%
 初潮率：0.08%
 膣長：5.6cm

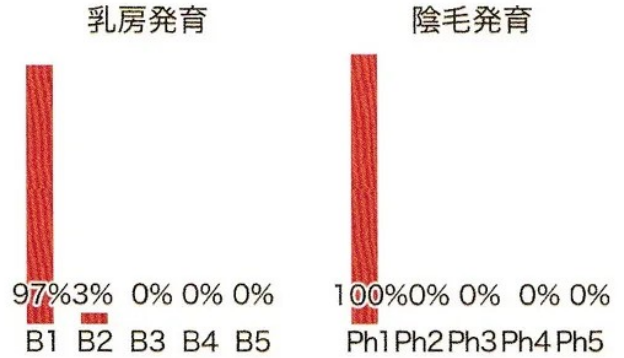


出生以降下がり続けていた体脂肪率はこの頃に生涯最低値を取る。
 つまりロリとは「ぶに」ではありえない。また小学校低学年の身体成長はゆるやかであり
 ゆえに小学1年生と小学2年生の体格差はさほどないといえる。

小学2年生

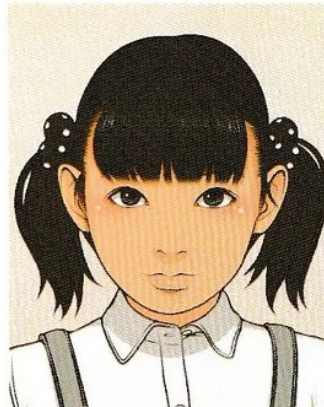


身長：123.6cm
 体重：24.4kg
 B：59.2cm
 W：53cm
 H：65.5cm
 カップサイズ：AAAA55
 陰毛率：0%
 初潮率：0.16%
 膣長：5.6cm

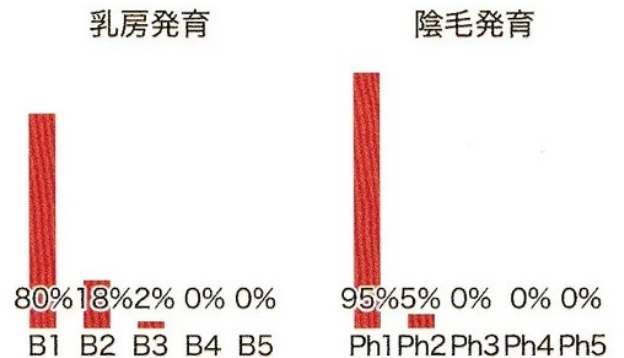


体脂肪率が低く、比胸比(胸囲÷身長)は最低値を示す。
 つまり人生で最もほっそりした体型なのがこの年齢である。
 小学1年生と同じく身長・体重の発育はまだゆっくりとしたペースである。
 海外では出産の記録もある年齢ではあるが、初潮はまず来ないとみていい。

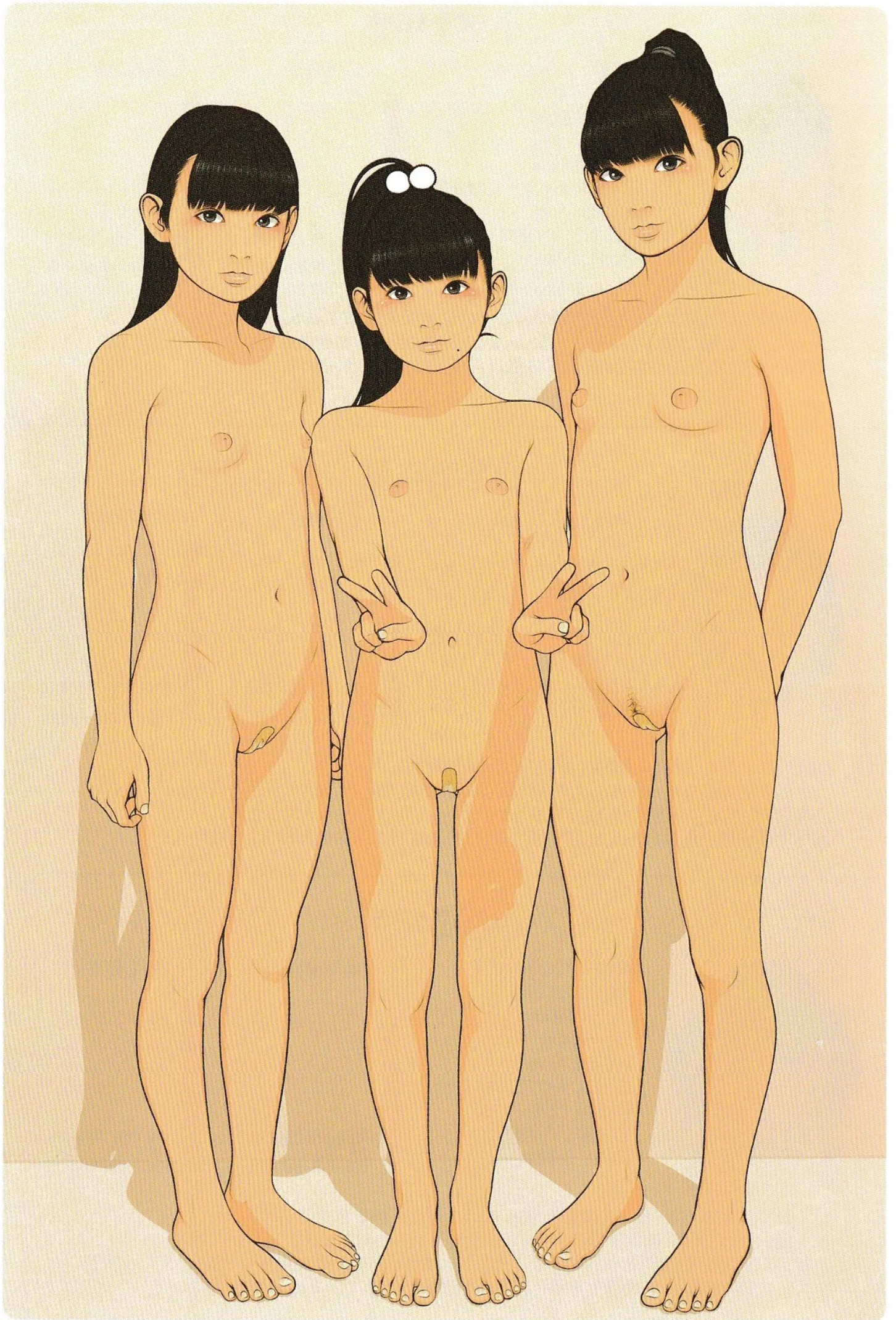
小学3年生



身長：130cm
 体重：28.3kg
 B：62.6cm
 W：55cm
 H：69.1cm
 カップサイズ：AAA60
 陰毛率：5%
 初潮率：0.76%
 膣長：5.9cm



ごくわずかであるが、胸の発育が始まっている少女も見られる。
 また極少数の初潮経験者も見られる。だがタナー1期がボリュームゾーンと見ていい。
 小学3年生以降、思春期を迎え始める少女が多くなり、思春期前の最後の年齢と考えられる。
 ゆえにこの年齢前後を銭湯で男湯に入れる最終年齢としている自治体も多い。



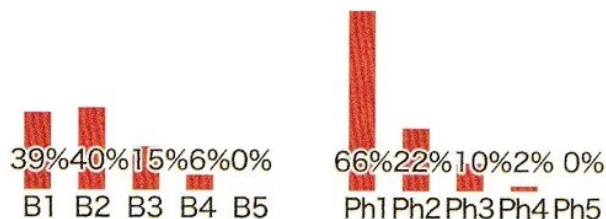
小学4年生



身長：135.8cm
 体重：31.4kg
 B：65.4cm
 W：56.1cm
 H：71.9cm
 カップサイズ：AAA60
 陰毛率：34%
 初潮率：7.4%
 膣長：6cm

乳房発育

陰毛発育



乳房がタナー2期に達し、思春期が開始される学年である。
 身長性の徴スパートも始まり、体格も5年生時ほどではないものの大きく変化する。
 陰毛の発生者も散見される。ただし初潮経験者は少数である。
 性徴発達の順序は乳房タナー2期→陰毛→初潮であり、その入り口の年齢であるといえる。

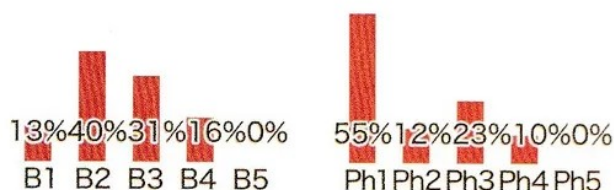
小学5年生



身長：142.7cm
 体重：36.1kg
 B：69.2cm
 W：58.6cm
 H：76cm
 カップサイズ：AAA65
 陰毛率：45%
 初潮率：25.2%
 膣長：6.2cm

乳房発育

陰毛発育



ローレル指数が生涯で最も低い値をとる学年であり、きわめて瘦身の体格をしている。
 この学年時に身長体重胸囲ともに大きな発達をとげ、少女の身体は大きく変化する。
 初潮を迎える少女も出始め、陰毛発生率も過半数に近づいている。
 体格の変化は顔にも表れ、下顎骨が発育し相貌も子どもから少女へと変化する。

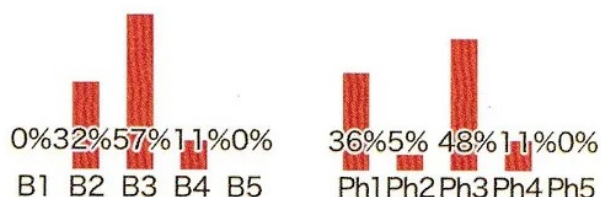
小学6年生



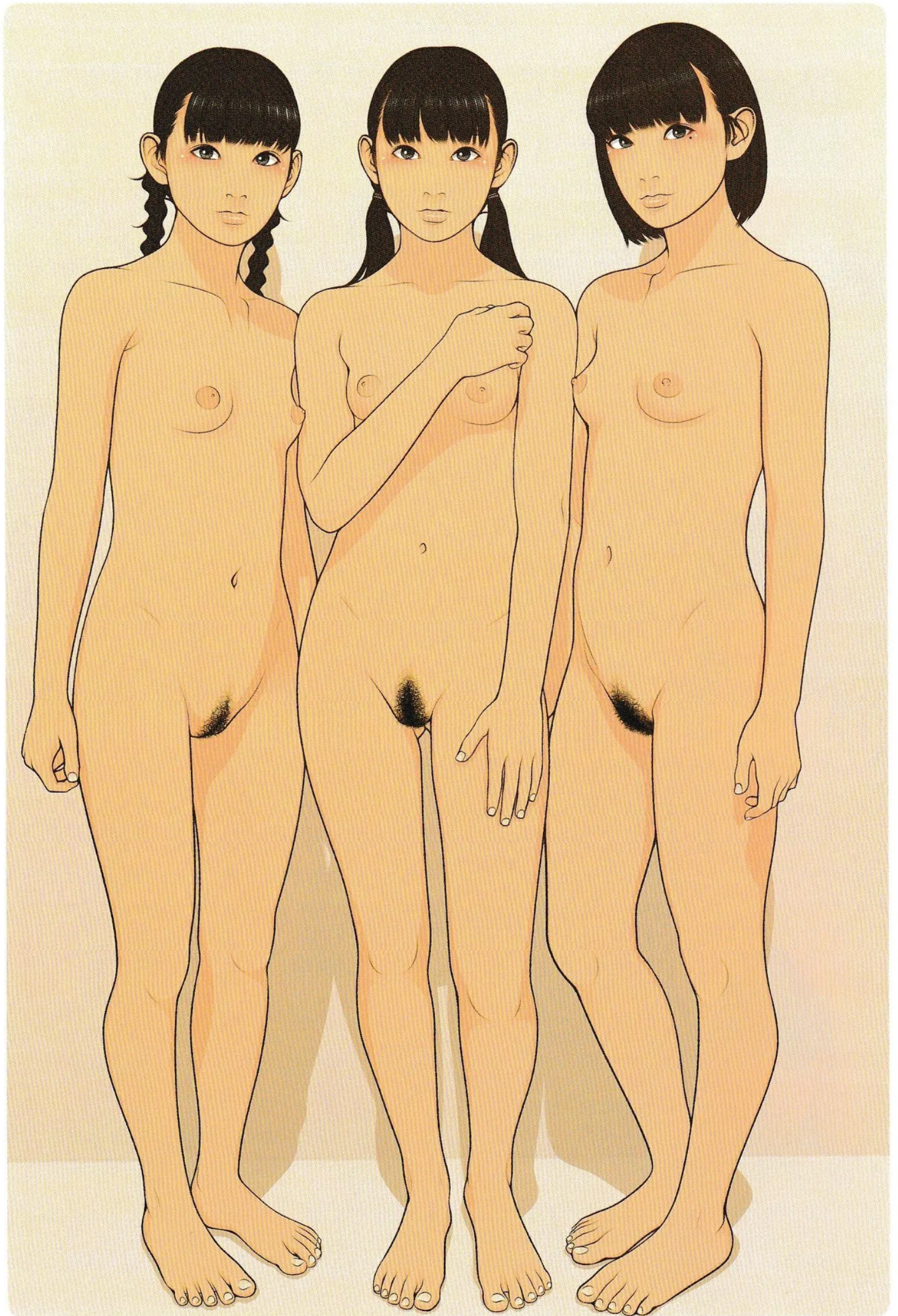
身長：148.5cm
 体重：41.2kg
 B：73.5cm
 W：60.4cm
 H：80.6cm
 カップサイズ：AA65
 陰毛率：64%
 初潮率：57.6%
 膣長：6.5cm

乳房発育

陰毛発育



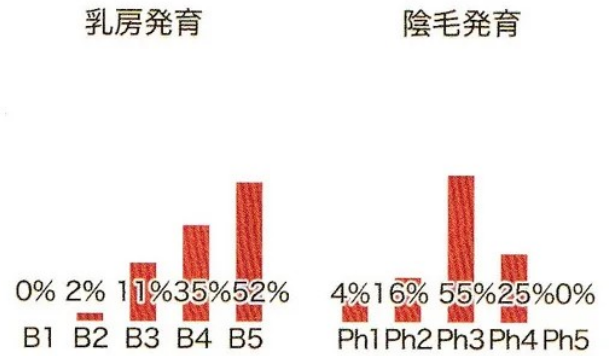
陰毛が発生し、次に初潮を迎える学年である。乳房も膨らみを増しブラなどが必要になってくる。
 低下し続けていたローレル指数はこの学年から上昇をはじめ、体格は丸みを帯び始める。
 個体差が大きい学年でもあり、乳房・陰毛がタナー4期の少女もいれば、無毛の少女も存在する。



中学1年生



身長：153.1cm
 体重：44.7kg
 B：76.1cm
 W：61.5cm
 H：83.4cm
 カップサイズ：A65
 陰毛率：96%
 初潮率：82.8%
 膣長：7.1cm

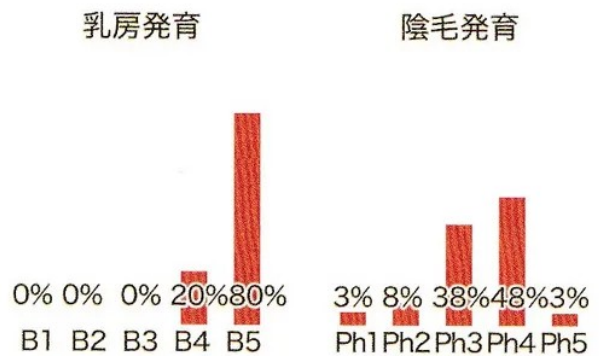


初潮後であり、小学校高学年時のような急速な体格の変化は鈍化している。ただし、体重は増加し、乳房も大きくなっている。初潮率・陰毛率は9割を超えているが乳房陰毛ともにタナー3/4期程度であり、成人様に達している個体はまだ少ない。また中学1年生時点での月経周期は長く不安定だと言える。

中学2年生



身長：155.6cm
 体重：48.1kg
 B：78.9cm
 W：62.9cm
 H：86.2cm
 カップサイズ：A70
 陰毛率：100%
 初潮率：95.1%
 膣長：7.4cm

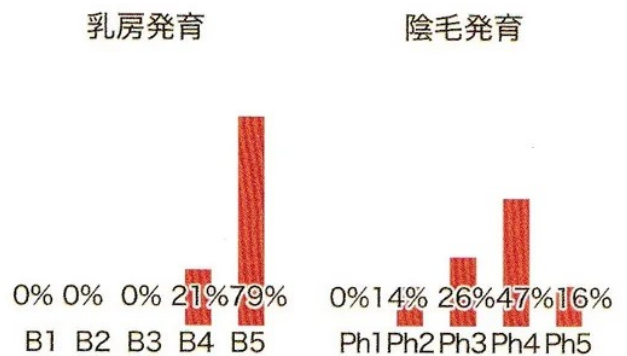


初潮から約二年が経ち、月経周期は排卵性を示すようになる。同時に骨盤のサイズも出産に耐えられるものとなり通常妊娠が可能となる。ただし未だ体格・生殖器等は完成しきってはいない。乳房・陰毛ともに成人に近づいており、この年齢で陰毛が未発生少女はごく稀である。

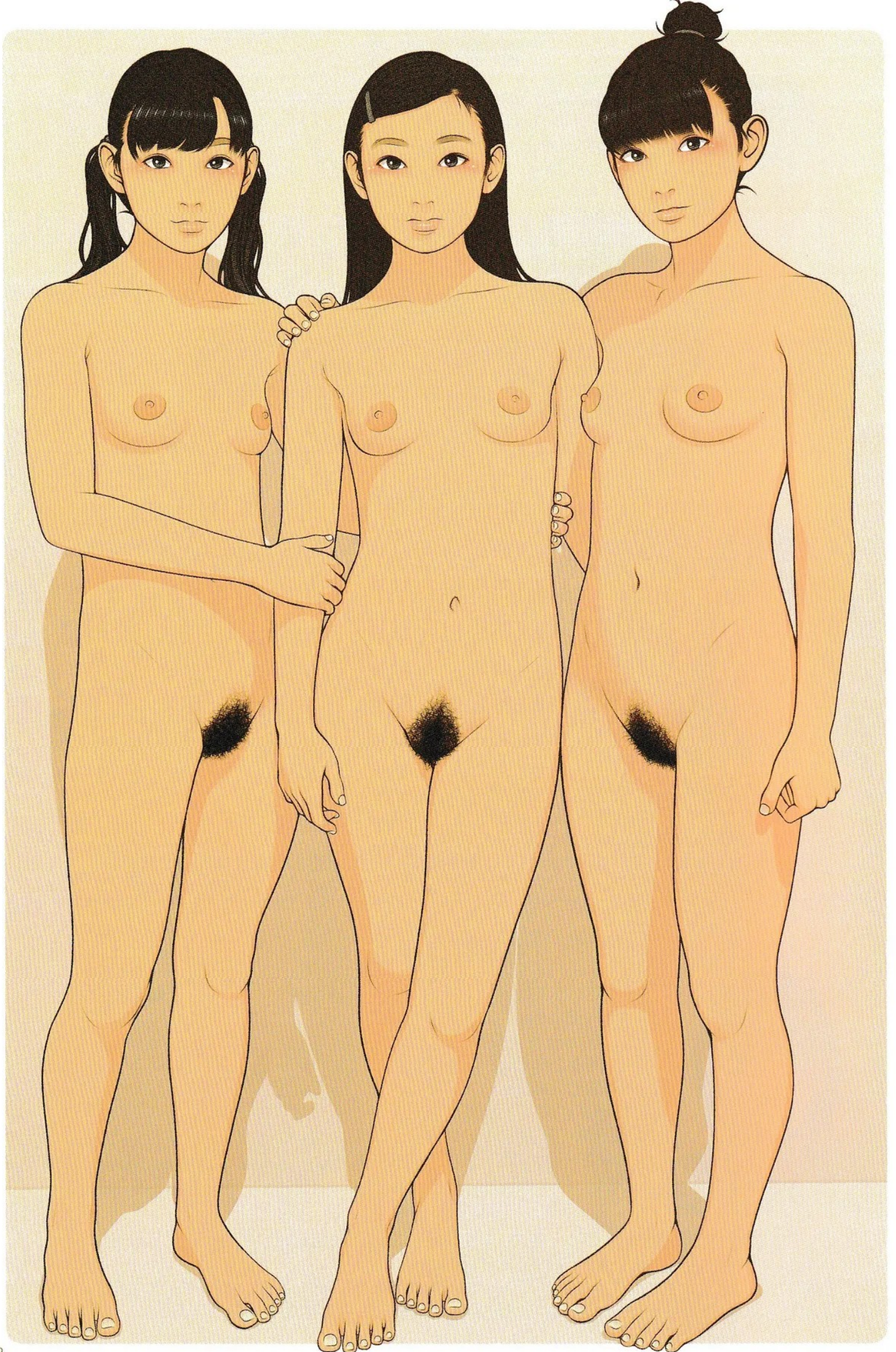
中学3年生



身長：157.2cm
 体重：50.8kg
 B：81cm
 W：64.2cm
 H：88.4cm
 カップサイズ：A70
 陰毛率：100%
 初潮率：98.7%
 膣長：7.6cm



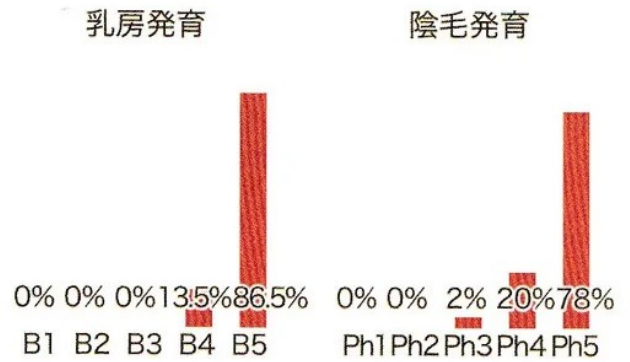
ローレル指数は20代女性をやや上回り、身長体重などの体格はほぼ完成しているといえる。平均カップサイズもこの年齢以降は大きくなりません。性徴面でも乳房陰毛ともにタナーステージ5の割合が高くなり成人化していると言える。ただし未初潮の少女は散見され、また子宮重量からすると生殖器は完成していない。



高校1年生



身長：157.3cm
体重：51.6kg
B：81.6cm
W：64.6cm
H：89.6cm
カップサイズ：A70
陰毛率：100%
初潮率：98.7%
膣長：7.6cm

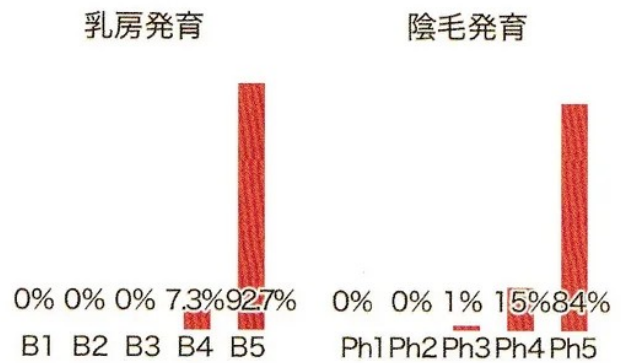


高校生1~3年生の体格差はほぼ無いと言っていい。だが、子宮や骨盤は未だ発達途上にある。1年生から2年生にかけて若干乳房・陰毛も発達していることがタナー分類の割合からもわかる。また高校1年生はウエスト÷ヒップの値が20代を除いては最小の値を示し、くびれた体型である。

高校2年生



身長：157.8cm
体重：52.7kg
B：82.5cm
W：65.2cm
H：90cm
カップサイズ：A70
陰毛率：100%
初潮率：100%
膣長：7.7cm

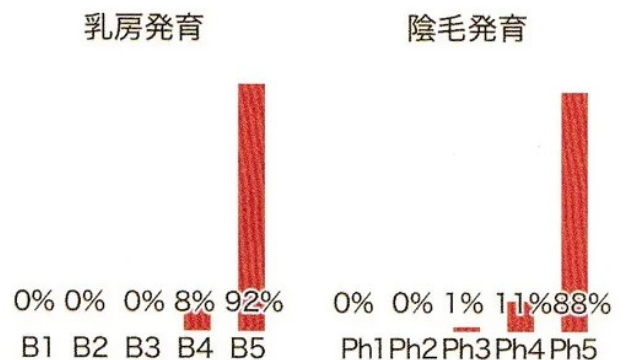


高校1年から引き続き乳房陰毛がごく若干だが発達している。しかしほぼ成人様である。高校1年・3年と同じくトップバスト引くアンダーバスト値は中学3年生時点とほぼ同じであり胸囲の値は増してもカップサイズは変わっていない。脂肪の蓄積も進みローレル指数は次年の高校3年生に次ぐ値となっている。

高校3年生



身長：158.1cm
体重：53.3kg
B：83cm
W：65.5cm
H：90.6cm
カップサイズ：A70
陰毛率：100%
初潮率：100%
膣長：7.7cm



ローレル指数は7-18歳の中で最大の値となり、また20代よりも大きな値をしめしている。ヒップも平均で90を超えており、相当に「ぽっちゃり」した体型である。初潮後7年程度で月経周期は安定し自分の「母性」を受け入れるという論者もいる。この年齢のこの性徴と体格をもって児童というのは難しいが、妊孕性は20代と比べれば低い。

初潮とはなにか

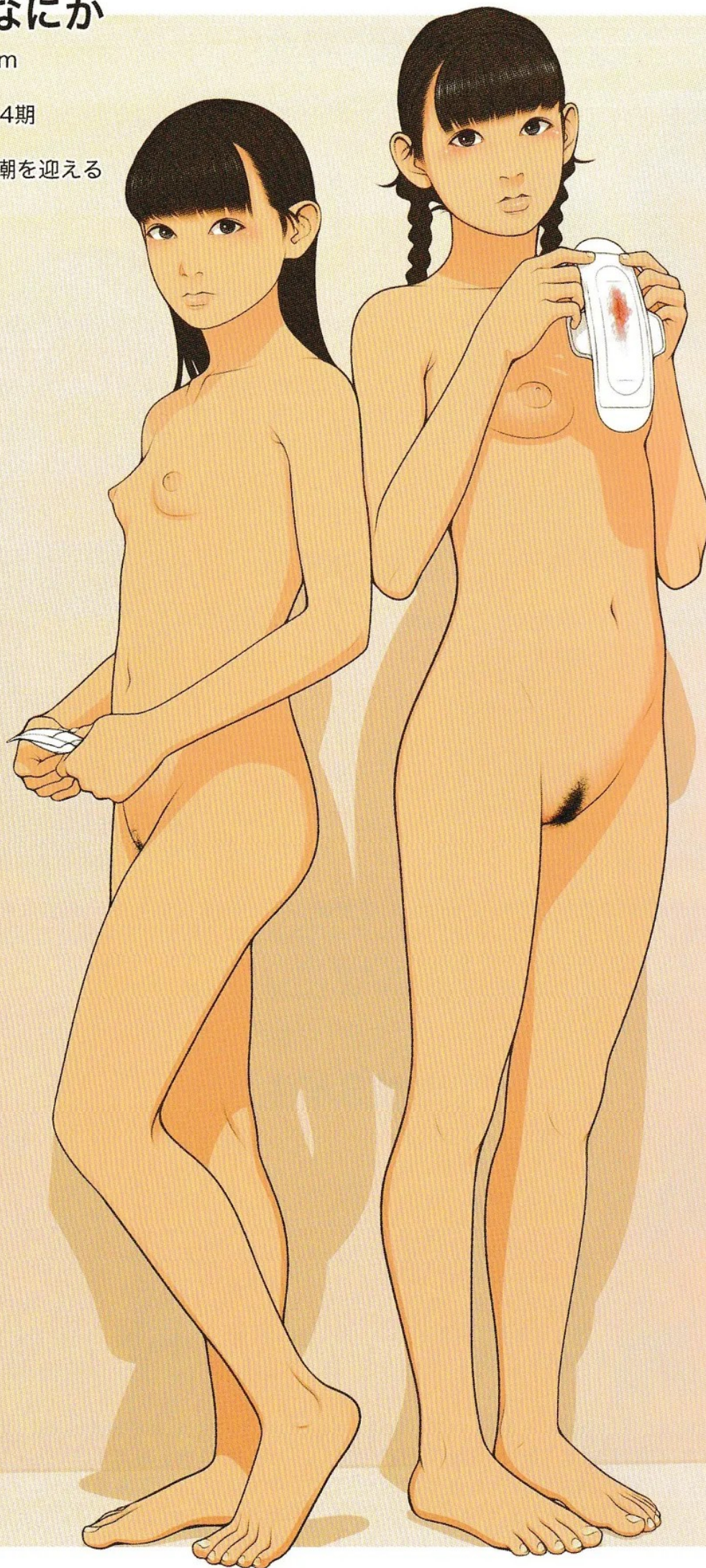
身長145~152.5cm

体重37.5~45kg

乳房はタナー3期~4期

陰毛は2~3期

そのとき少女は初潮を迎える



体格

初潮時の平均体格は身長151.3cm体重42.8kgである。胸囲は70cm-75cmの間程度と推測できる。

身長は145～152.5cm、体重は37.5～45kgの間で約7割が、初潮を向かえる。

また体重35kg未満で初潮を迎える少女は少数である。初潮は、身長伸びのピークから1～1.5年後に迎え、初潮時には身長伸びは鈍化しており、ローレル指数も上昇し始めている。

身長が伸びなくなって、体が少し丸みを帯びたところに初潮を迎えるといえる。

年齢

初潮の平均年齢は12.2歳。ここ20年は変化しておらず、日本人の早熟化傾向は止まったとの意見もある。

初潮は4,8,12月といった長期休みに発来しやすく、年齢から推察すると小学6年生の冬休みに来る少女が多いと考えられる。来潮には体重や体脂肪が関係しているとされ、肥満児の初潮年齢は約1年以上早く

逆に体脂肪率が低いと思われる器械体操選手は平均年齢の約2年後と遅い。年齢に眼を向けてみると、

小学6年生で迎える少女は32.4%、中学1年生では25.2%、小学5年生では17.8%と、

小5～中1に初潮年齢は集中しており、小学3年生以下や中学3年生以上で迎える少女は少数である。

平均タナーステージと性器

性徴の発来順は乳房タナー2期→陰毛→初潮であり、乳房未発達であったり無毛での初潮はごく少数である。

およそ初潮は乳房タナー3期と4期の間、陰毛は2期と3期の間に発来する。

初潮直後の乳房形状は半球状が多く乳輪は肌色と茶色の中間である。

また初経前後の性器は、膣口が拡大し、大陰唇・小陰唇は膨らむ。

膣内は帯下が増え、粘膜の赤い光沢も消え、表層細胞が増加する。

膣内に皸も生成する。

排卵と周期

初潮から1度目の月経までの日数は平均 49.5 ± 30 日と極めて長く

バラつきが大きい。初潮直後の月経随伴症状は軽く、平均初潮後3年で

随伴症状が現れる。初潮直後は基礎体温も排卵周期を示しておらず

排卵していないか黄体が育っていないために受精・着床がしにくいと

考えられる。排卵周期確立は初潮後約2年と言われこれはほぼ陰毛

タナー4期時点でもあり、骨盤が出産に適合する程度の年齢でもある。

また別の研究では月経周期の安定化は初潮後約7年との結果も出ており

10代女子の妊孕性は高くない。

妊娠

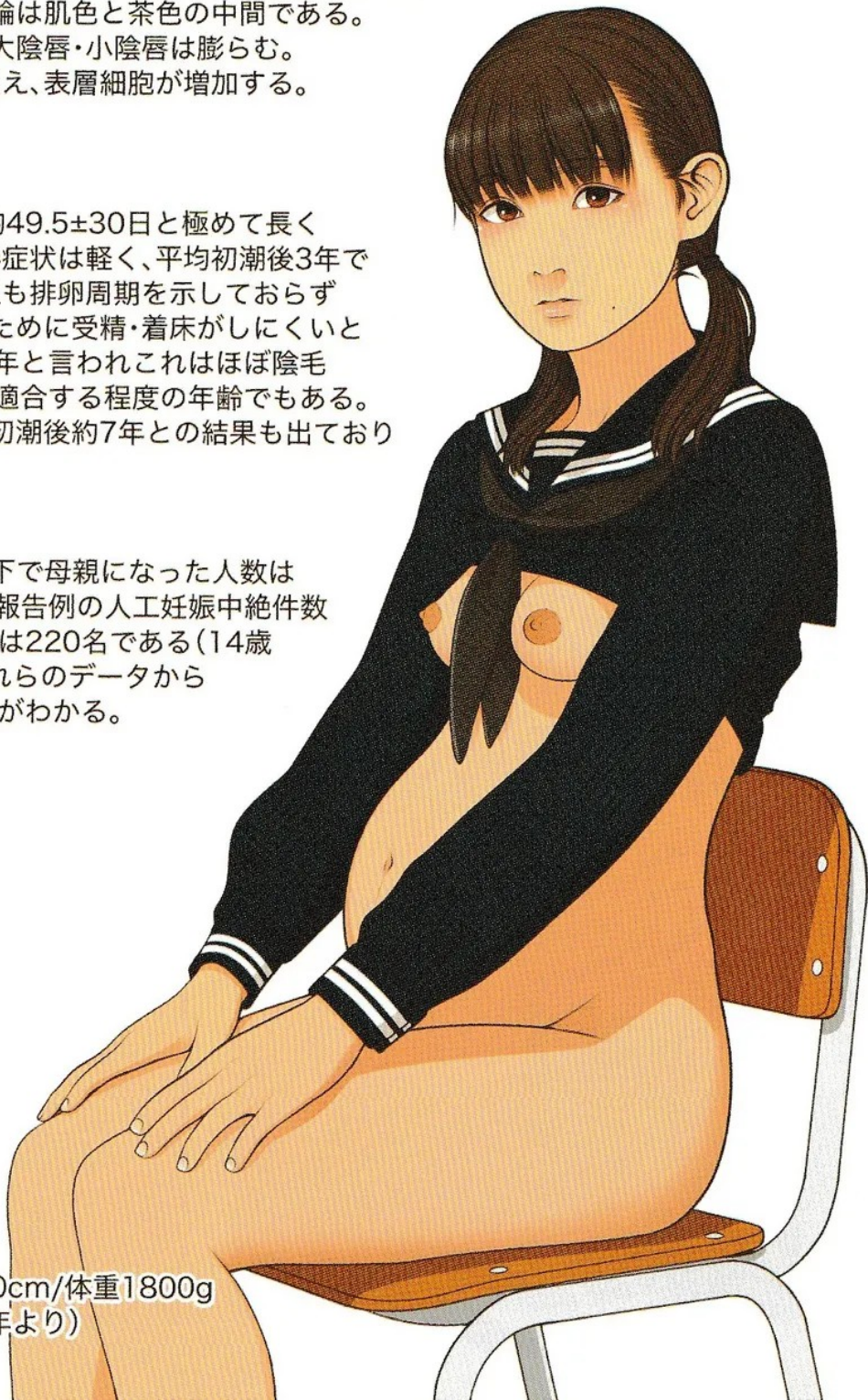
2016年人口動態調査によると14歳以下で母親になった人数は

全国で46人。また平成28年度衛生行政報告例の人工妊娠中絶件数

によると14歳以下で人工中絶をしたのは220名である(14歳

174名、13歳34名、13歳未満12名)これらのデータから

14歳以下の妊婦は毎年一定数いることがわかる。



犬塚依子

14歳 中学二年生

現在妊娠8か月。妊娠後期。胎児の身長40cm/体重1800g

(ぬまたちひろ『つめえるほん7』2017年より)

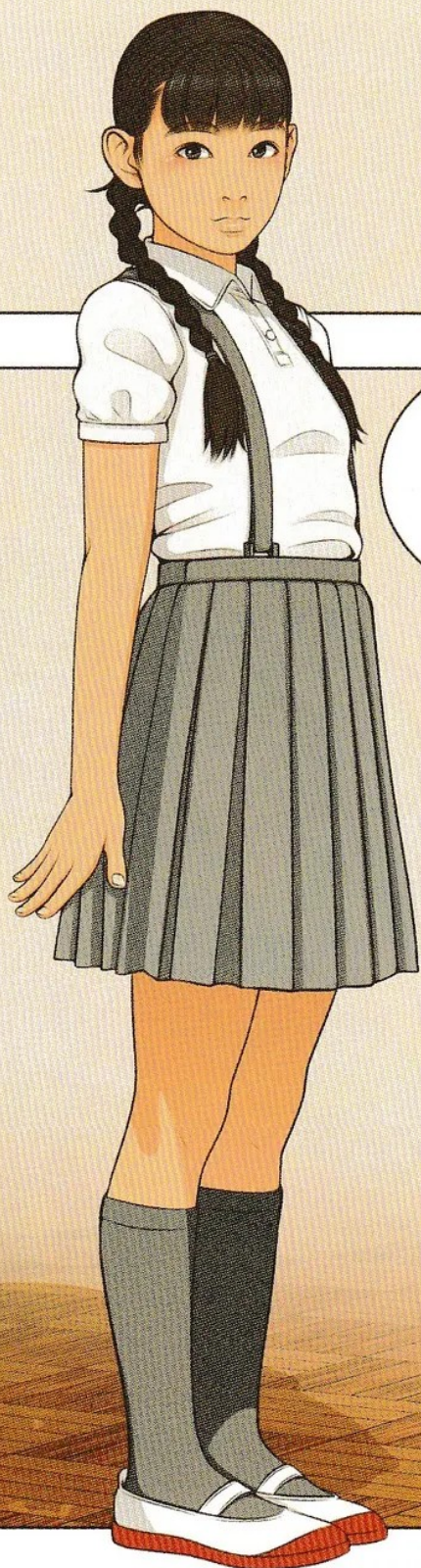
少女性徴標準史

しょうじょせいちょうひょうじゅんし

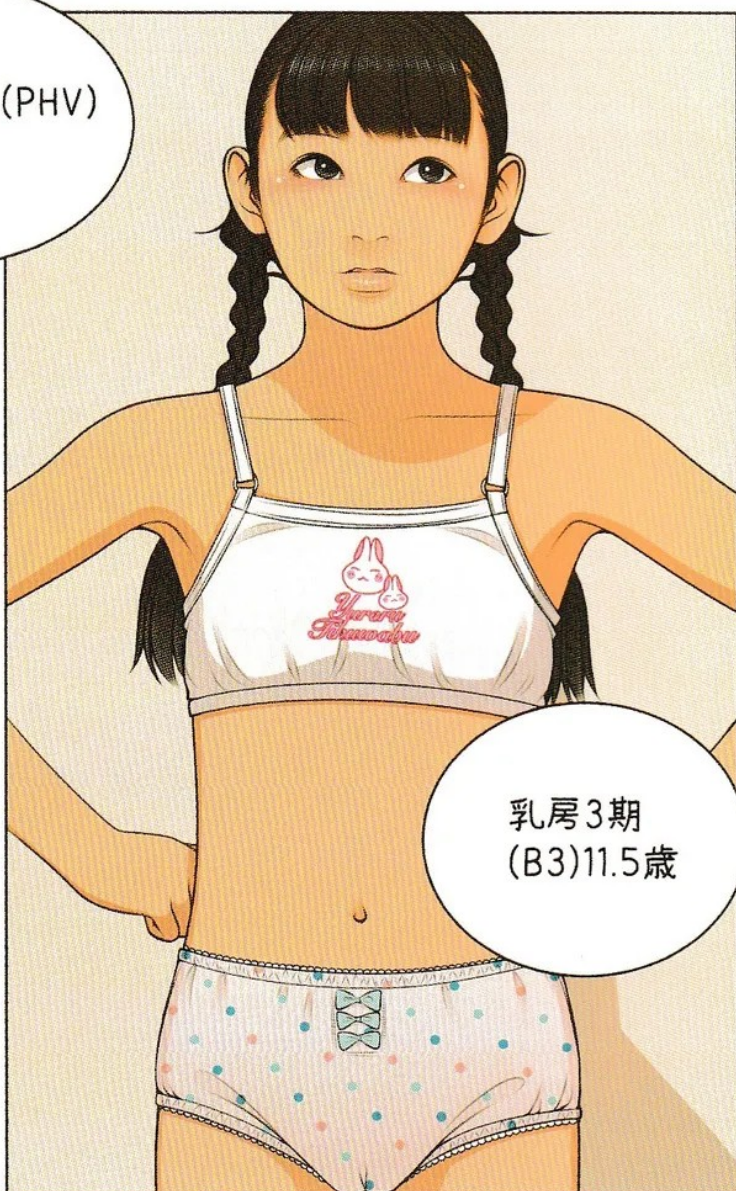
作・保田やすひろ
絵・伸長に関する考察



乳房2期(B2)
10歳



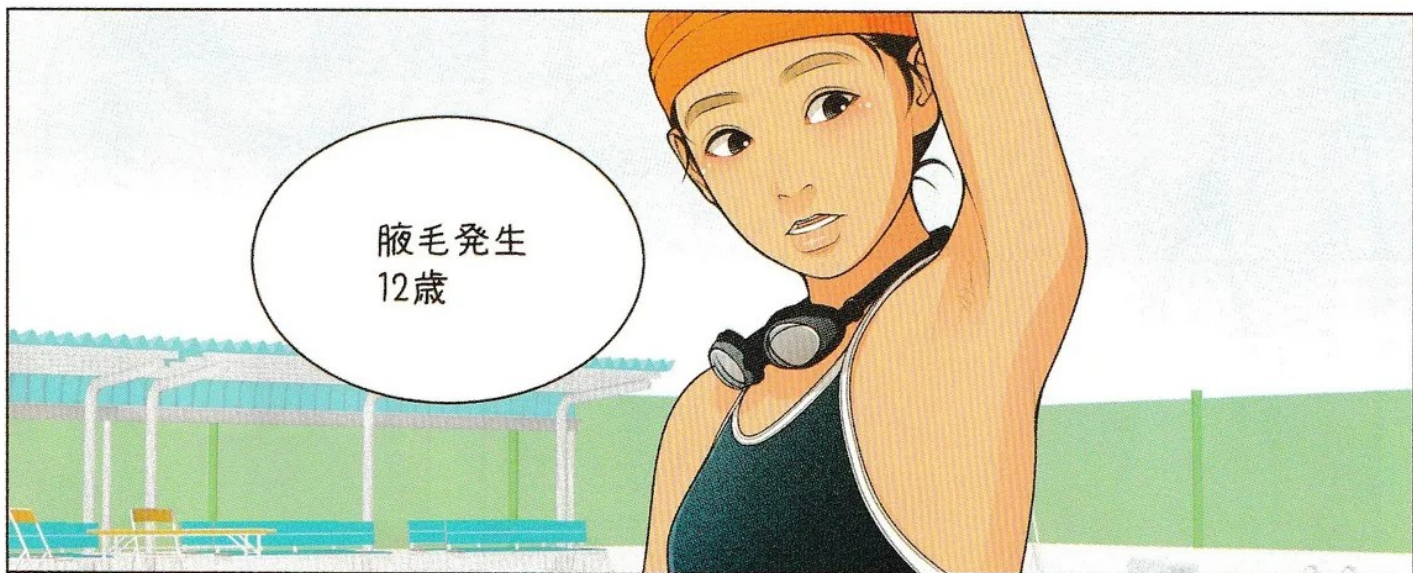
背が伸びる(PHV)
10.9歳



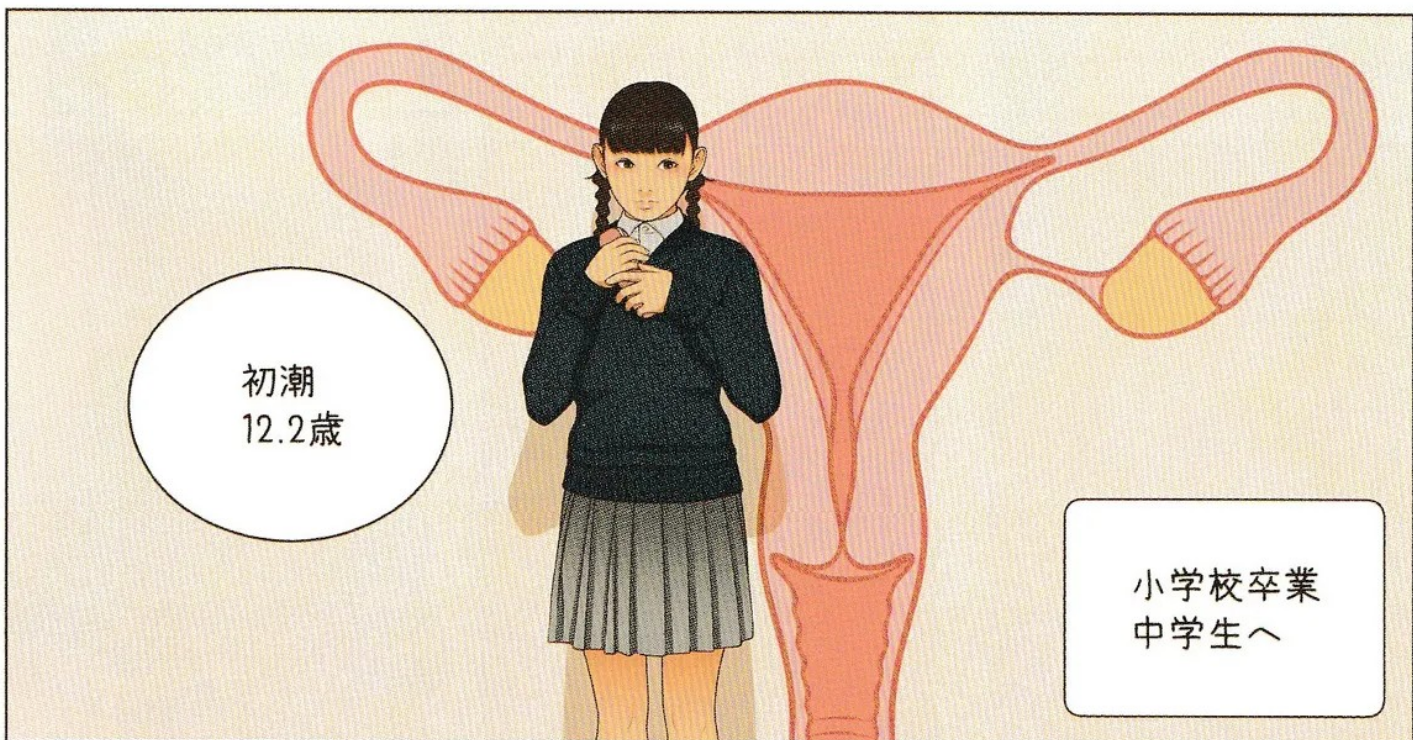
乳房3期
(B3)11.5歳



陰毛発生(Ph2)
11.7歳

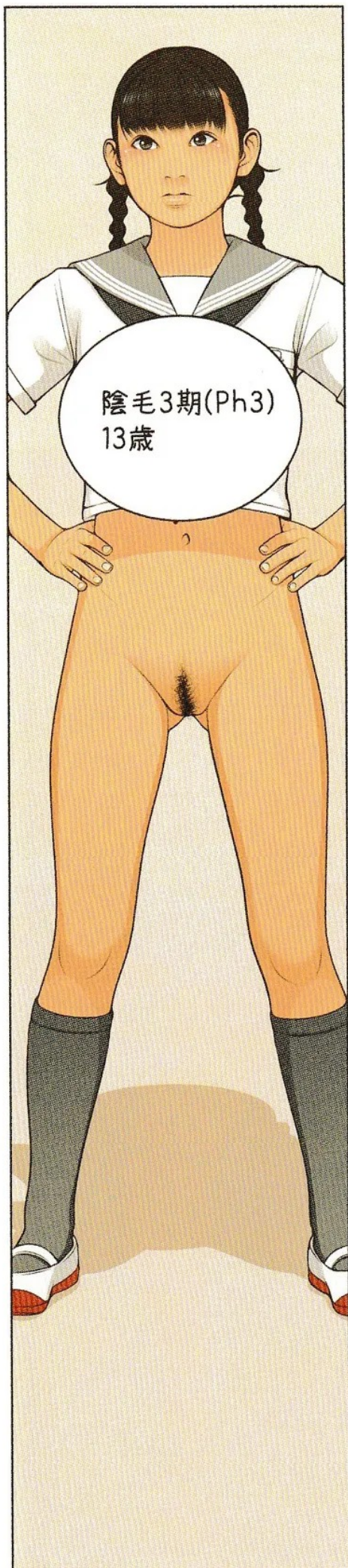


腋毛発生
12歳



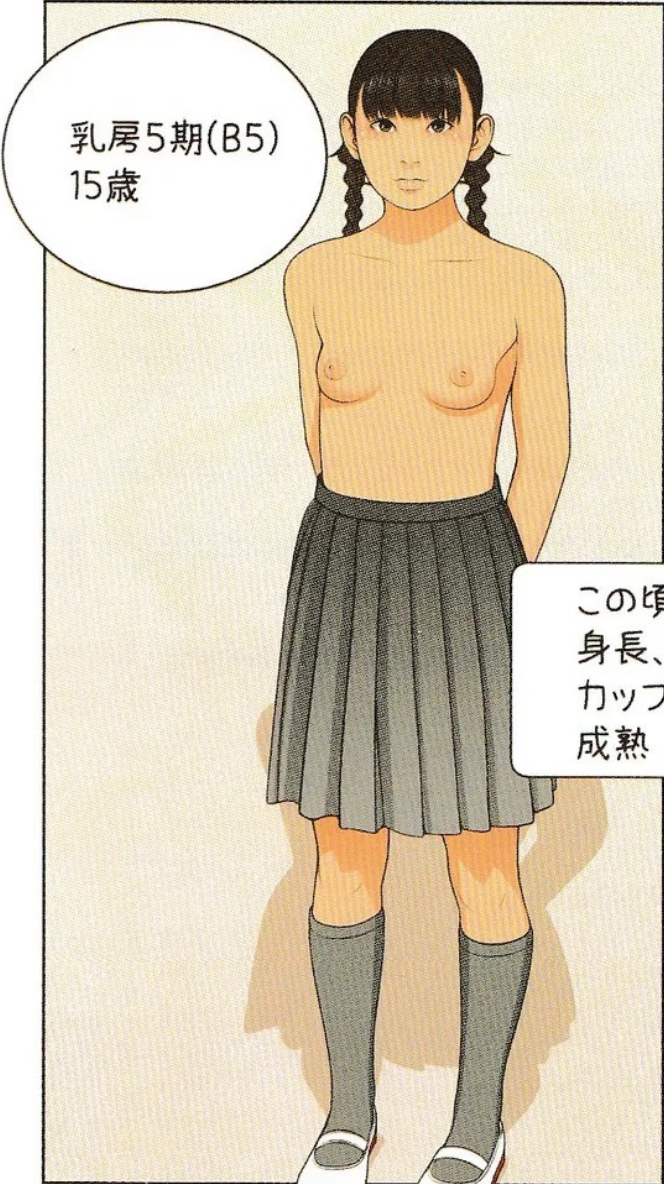
初潮
12.2歳

小学校卒業
中学生へ



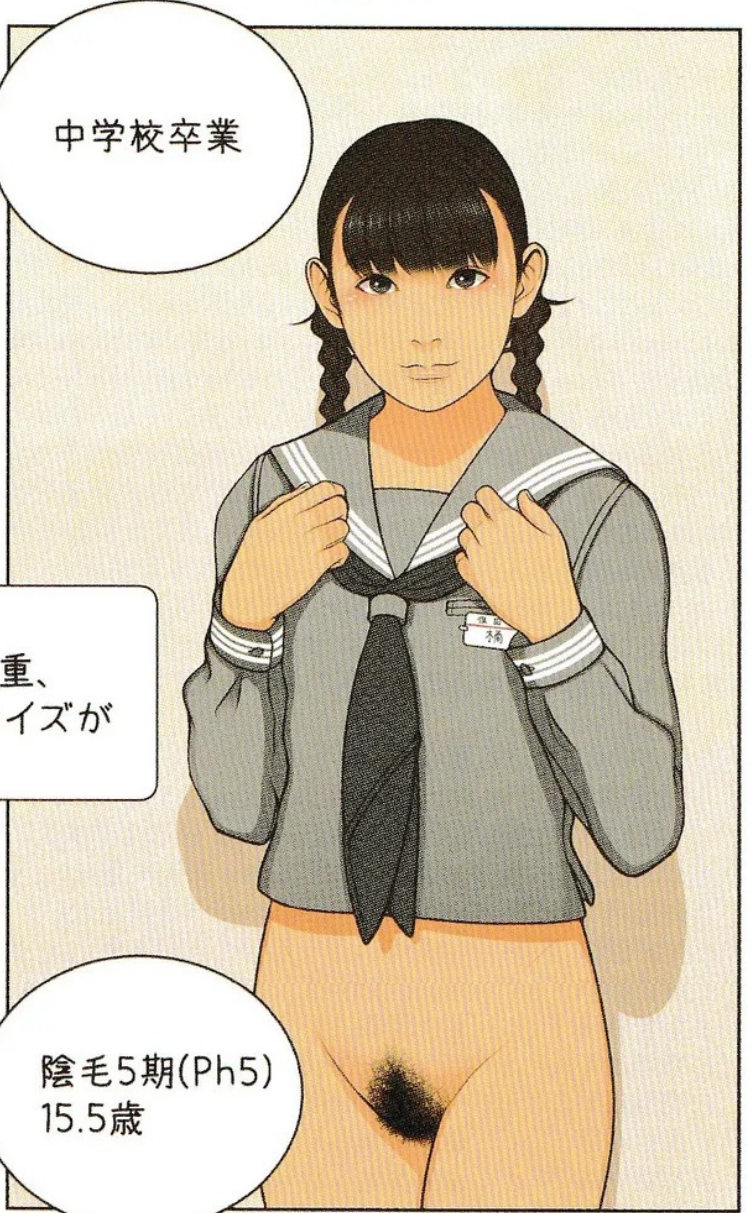


骨盤の成熟
通常妊娠可
14歳



乳房5期(B5)
15歳

この頃
身長、体重、
カップサイズが
成熟



中学校卒業

陰毛5期(Ph5)
15.5歳

解説と参考文献

乳房・陰毛タナー分類

説明文は『Growth at adolescence, 2nd ed』より。

訳文はmario_mario氏(twitter @mario_mario_03)による。前号ともに感謝したい。

カップサイズ値は人間生活工学研究センター大阪『日本人の人体計測データ Japanese body size data 1992-1994』1998年より。

タナーステージにおける体格は『广州市儿童青春发动时相及其发动提前影响因素的研究』广东药学院2010年硕士研究生学位论文より。<http://max.book118.com/html/2015/1231/32428249.shtml>

各乳房タナーステージにおける陰毛ステージ比率

『广州市儿童青春发动时相及其发动提前影响因素的研究』より。

体格論

ローレル指数とは身長を1辺とした立方体としてとらえ体重との比率を求めるものである。

計算式は「体重(kg)÷身長(cm)の三乗×10000000」で求める。これは学童期の肥満の判定として使用される。

幼児期はこの指数が大きいが、その後急激に低下し、女性では11歳ごろに最低値を取り、初経前後から上昇に転じる。

BMIは身長が高くなるにつれ数値が高くなるので児童に適應するのはあまりふさわしい指数ではない。

ローレル指数算出に使った数値は『日本人の人体計測データ』より。

最新身長体重の最新データに関しては学校保健統計調査を参考に。

http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm

グラフは『内分泌疾患』小児内科vol.48 NO.3 2016年より

小学1年生～高校3年生

身長/体重/B/W/H/アンダーバストは、『日本人の人体計測データ』より。

最新データは学校保健統計調査を参考にされたい。また平均胸囲は平成6年度まで調査している。

タナーステージの割合/陰毛率は玉田太郎『思春期の身体発達』臨床婦人科産科57巻 9号医学書院2003年より。

高校1年生以降は、梁健平『广州市儿童青春发动时相及其发动提前影响因素的研究』を参考にした。

中国人と日本人の思春期開始・陰毛発生・初潮年齢は近似しており、日本人もこの程度の数値を示すことが予測できる。

また高校1・2年生の乳房発育に関しては日本の調査もあり(新女性医学大系20『乳房とその疾患』中山書店 1999年)

それによると、高校1年生は、B3:5%、B4:35%、B5:60%。高校2年生はB3:2%、B4:27%、B5:71%である。

乳房ステージの小学1～3年生における割合は田中敏章・今井敏子

『縦断的検討による女児の思春期の成熟と初経年齢の標準化』日本小児科学会雑誌第109巻 vol.10 2005年より。

初潮率は日野林俊彦『発達加速度に関する研究・その27』より。

<https://www.psych.or.jp/meeting/proceedings/77/contents/pdf/2PM-068.pdf>

小学1・2年生、高校1～3年生の初潮率は、生殖・内分泌委員会報告『わが国思春期少女の体格、月経周期、体重変動、

希望体重との相互関連について』日本産科婦人科学会雑誌49巻6号1997年より。

自慰経験率は財団法人日本児童教育振興財団日本性教育協会『「若者の性」白書 第7回青少年の性行動全国調査報告』より。

膣長・処女膜は、岩崎寛和 小林登『新小児医学大系 第36巻 小児婦人科学』中山書店 1982年より。

ただし高校3年生は17歳以上の処女膜横径の平均値を記載してある。

子宮重量は、石浜淳美『臨床性医学入門』金原出版1981年より。ただし日本人の調査ではないので、参考まで。

補足的なデータを以下に載せておく

小1 自慰経験率:1.6% 処女膜横半径5.2mm 子宮重量3g

小2 自慰経験率:2.3% 処女膜横半径5.8mm 子宮重量4g

小3 自慰経験率:2.7% 処女膜横半径6.1mm 子宮重量4g

小4 自慰経験率:6.0% 処女膜横半径6.2mm 子宮重量4g

小5 自慰経験率:6.9% 処女膜横半径6.5mm 子宮重量7g

小6 自慰経験率:11.1% 処女膜横半径7.2mm 子宮重量11g

中1 自慰経験率:14.1% 処女膜横半径8.5mm 子宮重量14g

中2 自慰経験率:17.3% 処女膜横半径9.0mm 子宮重量20g

中3 自慰経験率:20.5% 処女膜横半径9.2mm 子宮重量23g

高1 自慰経験率:23.2% 処女膜横半径9.5mm 子宮重量27g

高2 自慰経験率:25.4% 処女膜横半径10.6mm 子宮重量33g

高3 自慰経験率:27.6% 処女膜横半径11.5mm 子宮重量37g

初潮論

初潮体格は『女子高生の初経発来時の身体発育状態』思春期学Vol.14 No.2 1996年

及び『初潮発来と身体発育状態』思春期学Vol.11 No.2 1993年より。

平均年齢・初潮年齢の変化は『発達加速度に関する研究・その27』より。

肥満女性の初潮年齢は『思春期の肥満女性における性発達と体脂肪およびレプチンの関係』

日本小児科学会雑誌107巻9号2003年より。

器械体操少女の初潮年齢は滋賀県体育協会スポーツ科学委員『女子のスポーツ適正に関する研究報告書』1983年。

排卵周期に関してはロバート・M. マリーナ、クロード ブシャール 監訳高石昌弘『事典 発育・成熟・運動』より。

発来順は斉藤誠一『思春期の身体発育と性役割意識の形成について』教育心理学研究第33巻第4号1985年より。

また年齢と初経の関係は水野晴夫『内分泌疾患』(小児内科vol.48 NO.3 2016年)より。

月経随伴症状は『青年期女子学生の月経随伴症状(1)』思春期学VOL.18 NO.2 2000年より。

安定化は『月経周期の発達からみた女性の性成熟(その1)基礎体温による分類』思春期学VOL.16 NO.2 1998年。

性器は坂元正一『産婦人科MOOK40 思春期の産婦人科』金原出版 1988年より。

乳房は『思春期女子の乳房発達の実態』母性衛生第32巻3号1991年より。

その他の記述や性器に関しては松本清一編集『思春期保健学』同文書院1982年より。

少女性徴標準史

乳房2期・陰毛は松尾宣武『日本人小児の性成熟に関する検討』1992年より。

<https://www.niph.go.jp/wadai/mhlw/1992/h040416.pdf>

乳房3～5期、陰毛3～5期に関しては『思春期の身体発達』より。

PHVは『縦断的検討による女性の思春期の成熟と初経年齢の標準化』より。

初潮年齢は『発達加速度に関する研究・その27』より。

腋毛発生年齢は毕焯『武汉地区6～17岁儿童青少年生长发育状况的研究』华中科技大学公共卫生学院

2011年硕士论文より。 <http://max.book118.com/html/2014/0623/8839650.shtml>

排卵開始年齢は『思春期保健学』より。

タナー4期、初潮後約2年で排卵性の基礎体温周期を獲得することからこの年齢とした。

通常妊娠可能に関しては可世木久幸『助産師国試対策スキルアップブック』海馬書房2012年より。

骨盤に関しては『新小児医学大系36 小児婦人科学』中山書店 1982年より。

出産時に難とされる狭骨盤の基準は中西正美『骨盤計測 日本産科婦人科学会雑誌第53巻 第10号』に掲載されている。

それによると正常骨盤の基準は産科真結合線10.5cm以上、入口横径11.5cm以上、外結合線18cm以上である。

これらの基準を満たす骨盤の平均値は14歳程度である。ただし骨盤はこれ以降も成長する。

カップサイズ成熟年齢は『日本人の人体計測データ』より。15歳以降の平均カップサイズに年齢差は無い。

あとがき

少女絵をもう一度考え直してみよう、というスカイプでの盛り上がりから作られた同人誌第二弾である。口りは太っているのか痩せているのか。乳はいつ膨らむのか。初潮はいつなのか。妊娠はいつから可能か。腋毛は陰毛は？大人から見ると小6は小さいけど、小学生の時には大きかったのはなぜ？という疑問と、その疑問を棚上げにしている自分に対してそれなりの解答がえられたと思う。

前作よりも図像を多くして、多くの人に読んでもらおうとか言ったのだが、それは結局伸長氏をしばきあげることに繋がった。おかげで、伸長氏の神業的なデザインと少女絵が仰山みられたのだが、すまんかった。そしてありがとうございます。やはりこの本はあなたのものです。

今作も多くの人にお世話になった。

思想的バックボーンである、膜熊氏とぬまたちひろ氏。

餅氏(パーカッション)。訳文提供して下さったmario氏。

こみPOや本を送ってくださった支援者の方々。

そして盛り上げてくれる保田塾生。

本当にありがとうございました。

たぶん前作と本作で、少し少女観が変わるかもしれない。

後ろめたいことは何もない。

地とそれに満ちている物とは、主のものだからである。

保田塾塾長

子ども性徴学

思春期少女発育入門ガイド

2017年12月31日 第1刷発行

著者 保田やすひろ

画・装丁 伸長に関する考察

発行所 保田塾 inuwonageru@gmail.com

印刷所 (株)グラフィック

本書の無断複製およびネットへの転載を禁じます。

子ども性徴学

思春期少女発育入門ガイド

保田塾
YASUDAJUKU